別紙様式１

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　令和　　年　　月　　日

バイアウト経費使用申請書

　　　　　　　　　　　　　殿

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　部局名

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　職　名

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　氏　名

　バイアウト経費を使用したいので，以下のとおり申請します。

1．バイアウト経費を使用する年度：

2．競争的研究費の名称：

　3．競争的研究費の詳細（種目・課題番号・課題名等）：

4．配分を受ける直接経費の額（本人に係る当該年度分）：

　5．バイアウト経費を使用する理由：

6．バイアウト経費の代行業務：

　　　　具体的な業務内容：

授業の場合は科目名：

7．バイアウト経費の額：

8．見込まれる研究時間の増加分：

9．競争的研究費に係るエフォート（バイアウト前・見込み）：

（バイアウト後・見込み）：

別紙様式１（裏面）

バイアウト申請に係るチェックリスト

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| １．応募書類 |  |  |
| 1. 令和3年度以降に新規に採択された研究課題であるか。

（令和2年度以前に採択された継続課題ではないか。） | □はい | □いいえ |
| 1. 応募時の研究計画調書に「バイアウト」の計上・記載があるか。
 | □はい | □いいえ |
| ２．年間の上限（バイアウト経費の額）について |  |  |
| 当該年度のバイアウト経費の額が直接経費の２０%以内となっているか。（又は競争的研究費が定める上限額以下か。） | □はい | □いいえ |
| ３．バイアウト経費の代行業務について |  |  |
| 教育活動及びそれに付随した事務であるか。（「研究活動」「管理運営事務」「営利目的の業務」は代行できません。） | □はい | □いいえ |
| ４．代行業務の内容について |  |  |
| ① 対象が授業補助業務であるか。（TA、謝金業務等） | □はい | □いいえ |
| ② 対象が授業であるか。（非常勤講師の採用を伴う） | □はい | □いいえ |
|  | 代行業務が授業の場合、以下も回答願います。 |  |  |
|  | 1. 教職課程認定を受けた授業科目であるか。

（☑はいの場合）授業科目名：代行しても教育等に支障がない理由： | □はい | □いいえ |
|  | 1. 卒業論文等指導に必要な授業科目であるか。

（☑はいの場合）授業科目名：代行しても教育等に支障がない理由： | □はい | □いいえ |
|  | 1. 上記(1)(2)以外の授業科目であるか。

（☑はいの場合）授業科目名：代行しても教育等に支障がない理由： | □はい | □いいえ |
|  | バイアウト申請に係る授業科目の割合 |  |  |
|  | 申請科目数［上記(1)(2)(3)の授業科目の合計］　　 （総授業科目数［当該年度に担当する授業科目の合計］ （割合［申請科目数／総授業科目数］　　　　　　　　 （ |  | ）件）件）％ |